

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 6 回 相模原市住生活基本計画策定委員会				
事務局 (担当課)		まちづくり計画部建築・住まい政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 8 1 7 (直通)				
開催日時		令和元年 1 0 月 4 日 (金) 午後 2 時 0 0 分 ~ 午後 4 時 0 0 分				
開催場所		相模原市立総合学習センター 2 階 セミナールーム				
出席者	委員	1 0 人 (別紙のとおり)				
	その他	1 人 (調査機関: 株式会社市浦ハウジング&プランニング)				
	事務局	5 人 (まちづくり計画部長、建築・住まい政策課長、他 3 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 相模原市住生活基本計画策定のスケジュールについて (2) 第 5 回住生活基本計画策定委員会における議事概要 (3) 相模原市住生活基本計画答申案について 3 その他 4 閉会				

審 議 経 過

主な内容は、次のとおり。(は、委員の発言、 は、事務局の発言)

1 開会

2 議題

大江委員長により議題が進行された。

(1) 相模原市住生活基本計画策定のスケジュールについて

事務局より、説明を行った。

(2) 第 5 回住生活基本計画策定委員会における議事概要

事務局より、説明を行った。

(3) 相模原市住生活基本計画答申案について

事務局より、資料の内容について説明を行った後、審議に移った。

第 1 章から第 3 章について

- ： 本年 4 月 1 日より区域の変更は、麻溝台・新磯野地区整備推進事業（A & A 計画）により、新磯区域が減少し、相武台、麻溝、相模台の区域が変更となった。
- ： 区域変更を確認し、修正する。
- ： 計画書内の年号の表記の仕方を統一した方が良いのではないか。文中は、西暦と元号が併記されているが、データ関連の出典は、元号のみの記載となっている。
- ： 総合計画の表記の仕方に合わせて修正する予定。複数年の調査結果を活用しているデータについては、出展に年号を記載していない。統計データは、どの時点の調査結果であるか分かるように明記している
- ： 年号の表記については、実用的な理由から西暦表記の方が、経過年数などを容易に計算することができる。
- ： P.9「(2) 住宅の状況」について分析されているが、P.18の「住宅に占めるマンションの割合」において、住宅には一戸建てや長屋建てなど様々な種類があることが示される。住宅には、どのような種類があるか記載してはどうか。
- ： P.9に住宅の種類別解説を追加する。
- ： 基本方針 9 は、単棟型のマンションは対象外と考えて良いか。
- ： 基本方針 9 では、団地型マンションにフォーカスを当てている。単棟型マン

ションについては、基本方針6で施策を示している。

- ： 基本方針9の取組の方向性において、「高経年の」は、団地型マンションと公的賃貸住宅団地の両方にかかっているのか。
： 両方にかかっているため、表現を修正する。
- ： P.18「住宅に占めるマンションの割合」の図に記載されている共同住宅という表記をマンションに変更してはどうか。また、 に記載している内容がわかりにくい。
- ： 住宅・土地統計調査では、この定義を用いているため、表記を変更することはできない。P.19の定義と合わせることは難しく、P.18では住宅・土地統計調査上の定義として、図の解説をすればよいと思う。
- ： P.11の「地域別の子育て世帯の市外転出」の に記載している内容がわかりにくい。
： 過年度の調査において、子の年齢で絞り込みをせずに、親子関係がある世帯を子育て世帯として扱っていることを解説している。
- ： P.10の「新設住宅の着工戸数の推移」のグラフの分譲住宅は、一戸建て、マンションのどちらを指しているのか。
： 両方を指している。
- ： P.17の空き家の状況を示すグラフには、マンションの空き室は含まれているのか。また、P.17「住宅総数：349,700戸」とP.18「住宅：312,500戸」の違いは何か。
： 空き家には、マンションの空き室も含まれている。また、P.18「住宅：312,500戸」世帯のある住宅を指している。

第4章について

- ： 施策体系の概要欄に「検討します」と記載されているが、関係主体では、取組の中心となる者が、市民となっているのは、正しいのか。
- ： 関係主体の解説を追記しても良いかもしれない。
： 関係主体の考え方について、再度修正する。
- ： 「セーフティネット住宅の登録促進」の概要に記載されている空き家と空き室の違いは何か。
： 統計上は、空き家のみとなるが、一般的に空き家と記載すると戸建てをイメージしてしまう。セーフティネット住宅の範囲を狭めないよう、戸建ても対象であることを表現した記載としている。

第6章について

- ： 「成果指標一覧」の出典で記載されている「独自調査」とは何を指している

のか。

： 本市が独自に調査した結果を元に設定している成果指標であることを指している。

○： 目標 に示している成果指標について、明示していただきたい。

： 市民アンケートを実施しているところで、現状値、目標値については、現時点では、示すことができない。アンケートの集計がわかれば、更新する。

3 その他

事務局より、10月9日に行う答申について説明し、第7回策定委員会の開催時期等について連絡を行った。

4 閉会

第6回 相模原市住生活基本計画策定委員会委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	荒尾 栄二	独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部神奈川エリア経営部 ウェルフェア推進課 課長		出席
2	石塚 恵	相模不動産団体・三支部連絡協議会 幹事	副委員長	出席
3	大江 守之	慶応義塾大学 名誉教授	委員長	出席
4	尾崎 義信	公募委員		出席
5	片野 憲治	相模原市社会福祉協議会 事務局長		出席
6	北島 正一	公募委員		出席
7	齊藤 宮子	相模原市民生委員児童員協議会 常任理事		欠席
8	佐藤 醸治	相模原商工会議所 常議員		出席
9	瀬尾 守一	相模原市自治会連合会 理事		出席
10	中島 隆子	子育て親育ち応援団With.cfc 代表		出席
11	羽太 美孝	神奈川県県土整備局建築住宅部 住宅計画課 課長		欠席
12	原 昇	公益財団法人マンション管理センター 管理情報部長		出席

(五十音順 敬称略)